



NO.

# いちじゅう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

## 諸会の功德

住職 平田真純

当山では、かねてより「朝まいり会」や「写経の会」などの信徒の皆様が集う修行の会を行っております。また最近、「日曜勤行」「夜間開堂」「座禅の会」なども新しく行って、皆様に体験の機会を設けさせていただいております。

修行というものは、もちろん一人一人誓願を立てて単独でされてもよいのですが、大勢の皆様が集って一緒にされるのも、また有意義なことであります。一緒にされれば、皆様はいわば同志です。一人一人がご本尊よりご加護を受けると同時に、お互いに救いあっていることにもなります。たとえお互い見ず知らず同士で、言葉を交わすことはなくても、心のどこかで救われていることになっていきたいと思います。

「写経の会」で読誦する経本の冒頭に「会則」が記されておりますが、そこに、「私たちは、写経行をとおして、情操を深め、人格の向上に努めます。」という項目があります。

情操の深化、人格の向上は、人同士のつながりで、より生きてくるものでもあります。皆で同じ修行に取り組むということは、その点においても有意義なのではないかと思えます。

「般若心経」等で「空」という概念が説かれますが、一般的な捉え方としては、「ものごとは単独で成り立っていることはなく、必ずかかわり合って成り立っているものである。それが縁というものの本質であり、よって自己の狭い執着心は捨て、生きることのありがたさを感じましょう」となるのでしよう。仏道修行とはそこに気づくことが目的といってもよいでしょうし、尊天様の御利益の深い因縁でもありましよう。

もちろん仏教という「縁」とは、人間同士のものに限定されるものではなく、もつと無限に広いものであります。しかし人とのつながりは、ある意味、気づきのきっかけにもなります。機会があれば、ぜひ諸会に出席されてみてください。ただし、狭い信仰・修行のみに執着心を燃やすのでなく、「信の力」「神仏の力」「縁の力」の三つの力を意識してください。

## 十二・正月の行事から

十二月五日（金） 正午より

本堂の煤払いを行います。

本堂の今年一年の塵を払う煤払いを行います。本年は曜日の都合で十二月五日正午より行います。当日のご参拝、お札等のお受取りは、午前中のみとなりますのでご注意ください。

十二月八日（月） 午前九時から午後二時

十一面観音様を御開扉いたします。



お前立ち  
十一面観音  
さまの特別  
開帳がござ  
います。  
ご祈祷後  
に住職によ  
り御宮殿の

扉が開かれ、午後二時まで内陣奥にて参拝と

ご焼香ができます。年に一度の御開扉です。

皆様お誘い合わせのうえご参拝ください。

参拝 無料

十二月二十二日（月） 午前十一時より

星まつり百味法要を厳修します。

冬至の日に来年の除災延命

の祈願をする「星まつり」を  
執行いたします。

そもそも冬至とは昼が最も  
短く夜が長い日です。つまり

この日以降は再び陽が延び、  
陰陽入れ替えの『一陽来復』



の日です。より良い年を迎えるためにも、星  
まつりにお申込みいただき、尊天様のご加護  
をお受けください。

お申し込みの方にはお名前と年齢が入った  
お守りを授与します。用紙にお名前と生年月  
日をご記入の上、寺務所にて申込みください。

講金 一、五〇〇円（お一人増毎五〇〇円）

送料二〇〇円（十駄ごと）

十二月三十一日（水） 正午より

納めの法要を執り行います

この一年のご加護に感謝し、本堂を初め、

境内の各末社で読経いたします。

（正月行事ご案内）

特別即時祈祷 三が日 午後一、二、三時

本堂内陣にて新年の開運を祈願致します。

祈祷料 三、〇〇〇円

おとそ接待 三が日 終日

本堂外陣において吉例の開運お屠蘇の無料  
接待がございます。

毘沙門天様の特別拝観 元日〜十五日

普段は本堂の左奥に安置されております浅  
草名所七福神の毘沙門様が拝観できます。

大般若講 大根まつり

一月七日（水） 午前十一時より午後二時

大般若講の法要後、皆様の身体健全・厄除  
け祈願の風呂吹き大根をお配りします。無料  
整理券を九時から本堂でお配りします。

大根まつり一月五、七日お手伝いのお願い

大根まつりの前準備及び当日の運営のお手  
伝いを、五、七日両日ともお手伝い頂ける方  
のみ募集いたします。寺務所にてお申し込み  
ください。

募集人数 先着二十名程度

## 行事報告

十月十九日(日)

歓喜講大祈禱会が厳修されました



天候に恵まれ当日、  
 講師各位の開運招福  
 をご祈願いたします  
 歓喜講が執り行われ  
 ました。

お申し込みの方々  
 のお名前を平田住職  
 がお一人ずつ読み上  
 げ、尊天様のお力と

大般若転読法要の功  
 徳を以て、開運招福を  
 ご祈念いたしました。

法要後、ボーカリスト「りか (Vo. Ukulele)」  
 さん「菊田茂伸 (ウッドベース)」さんによる



特別奉  
 演を行  
 いまし  
 ました。  
 参加  
 道では  
 富士山

千年水筒様よりペットボトルが奉納され、無  
 料で配布されました。大盛況のうちに歓喜講  
 は無事終了いたしました。

十一月三日(月) 朝参り  
 会 イベント

朝参り会終了後、朝参  
 り会会員である、柳家千  
 寿さんの落語、ツカサ(T  
 UKASA)さんのマジッ  
 クショーを催しました。  
 朝まいり会継続者に記念品  
 授与(十一月度)



朝まいり会を長い間継続されている左記の  
 方々に、記念品が授与されました。(敬称略)

五年 高橋正則  
 二年 高岡京子 一年 西谷裕子  
 半年 阿部かおり 岩崎みつこ 斉藤希久枝

お詫びと訂正

先月号、「奉納者御芳名」に於きまして、  
 「高松孝祐」様と掲載致しましたが、正しく  
 は「高松孝裕」様です。  
 ご迷惑をお掛け致しましたことを、お詫び

すると共に、ここに訂正させて頂きます。  
 七五三・お宮まいり

御宝前で行者様よりお加持を受けられまし  
 た。尊天様のご加護によって、健やかにご成  
 長されることをお祈り申し上げます。

